学校番号	313

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版 科学と人間生活　（数研出版）						
副教材等	改訂版 科学と人間生活 準拠 サポートノート　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な科学現象を通じて、科学技術がいかに自分たちの生活に役立っているのか、今までの理科の学習を踏まえて、その原理と現象について深く考え、その科学技術を発見し、また現在利用し続けるためになされている努力について知り、その恩恵にあずかっていることを知ってほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める。科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
科学に対する興味・関心を高め、科学的に探究する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身近な科学技術の例を通して、科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことや、最新技術の情報収集や展示会の見学などを行い、社会の変化に影響を与えてきたことを理解し、知識を身に付けている。	科学技術が人間生活にもたらしてきたことや、それらの科学技術のしくみを理解するとともに、科学技術の未来について考察し、考えを表現している。	私たちの生活を豊かにする身近な科学技術の発展について関心をもち、意欲的に探究しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の科学	材料とその再利用 衣料と食品	a:物質材料の種類と性質について理解できている。 b:物質材料の性質と用途の関連について考えることができる。 食品に含まれる栄養素のはたらきについて理解できる。 c:興味を持って授業に取り組んでいる。課題等の提出ができている。	定期考査 課題評価	定期考査 課題評価	授業態度 プリント記述 課題評価
	生命の科学	ヒトの生命現象	a:ヒトを形作っている様々な基本的要素について理解できる。 b: ヒトを形作っている様々な基本的要素がどのようにはたらきヒトの体を守っているか考えることができる。 c:興味を持って授業に取り組んでいる。課題等の提出ができている。	定期考査 課題評価	定期考査 課題評価	授業態度 プリント記述 課題評価
2学期	生命の科学	微生物とその利用	a:身の周りの微生物の種類やはたらきについて理解できる。 b:微生物のはたらきが、どのように利用されているか、理解できる。 c: 興味を持って授業に取り組んでいる。課題等の提出ができている。	定期考査 課題評価	定期考査 課題評価	授業態度 プリント記述 課題評価
	宇宙や地球の科学	太陽と地球	a:気象現象など、どのような自然現象が存在するか理解できる。 B 太陽や月が地球の大気や海洋、人間生活に及ぼす影響や仕組みについて考え、理解できる。 c: 興味を持って授業に取り組んでいる。課題等の提出ができている。	定期考査 課題評価	定期考査 課題評価	授業態度 プリント記述 課題評価

3学期	光や熱の科学	光の性質とその利用	a:光の波としての性質について理解できている。 b:光を中心とした電磁波の性質とその利用面について、日常生活における利用場面等について考え、理解できる。 c: 興味を持って授業に取り組んでいる。課題等の提出ができている。	定期考査 課題評価	定期考査 課題評価	授業態度 プリント記述 課題評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度